

第3回調布市立染地小学校施設整備検討委員会 概要

1 日時

令和6年12月13日（金）14時から16時30分まで

2 場所

文化会館たづくり1001学習室

3 出席者

(1) 委員

阿部委員長，河本副委員長，八木橋委員，米山委員，星委員，山澤委員，
久保田委員，矢筥原委員，市川委員，眞野委員，伊藤委員，小林委員(菊地委員代理)，
東海林委員，門田委員（小林委員代理），佐藤委員

(2) 事務局

ア 教育委員会

関口施設担当課長，森木副主幹，菊地主任，逸見主任

イ 企画経営課

後藤係長

ウ 株式会社大誠建築設計事務所

小林氏，大形氏

4 進行

(1) 前回の検討委員会の振り返り

(2) 議題についての説明及び質疑応答

ア アンケート調査結果（速報）について

イ 調布市立染地小学校施設整備の基本構想 施設整備方針（案）について

ウ 校舎内部ゾーニング（案）について

(3) 次回及び最終回の検討委員会について

5 質疑応答

(1) アンケートの回答数について，若葉・四中等と比べて多いのか少ないのか。

【議題1(矢筥原委員)】

→総数として対象者の違いもあり少なく，市民回答も少ないが，自由記述においては圧倒的に多かった。（事務局）

(2) 構想をするうえで参考にしている，参考になるようなものはあるのか。【議題2(山澤委員)】

→ほかの自治体を参考にしている。（事務局）

→テレビ等で特集されるものは，強い教育理念で先進事例となることはあるが，それが正解とは限らない。また，公共施設においては，1人の100点よりも8割の人から7，80点を目指すことを理解してもらいたい。（河本副委員長）

- (3) 現在3階にあるようなホールはあった方がよいか。【議題2（久保田委員）】
→全校朝会や講演会，学年指導等に使えるのでメリットはある。（八木橋委員）
- (4) 一番上の階までスロープを望むが，学校としてもどうか。【議題2（久保田委員）】
→ケガした児童等は松葉杖かつ階段で移動するため危ない。（八木橋委員）
→エレベーターを設置するため，懸念はなくなるかと考える。（事務局）
→スロープを造るには色々な規制もあり，何十メートルという長さになってしまうため，スペースや使い勝手を考えると現実的ではない。（河本副委員長）
- (5) 複合化について，高齢者施設がないことや地区計画等も踏まえて，学校に複合するのか，別途に建てるのかなど，連携を図って欲しい。【議題2（眞野委員）】
→地区計画における複合施設については，J K Kと話を重ねながら，具体的にになったらすぐに地区協議会や地域へ発信していこうと考えている。（東海林委員）
- (6) 小学校で4階建てはあるのか。【議題3（久保田委員）】
→文科省の方針では小学校は3階建てが望ましいとされているが，敷地条件等により条件が変わるので絶対ではない。また，市内には4階建ての小学校も存在している。（事務局）
- (7) 新校舎では，普段，子ども達は階段利用か。【議題3（山澤委員）】
→エレベーターの規模を踏まえると，非常時やケガ，車いす利用者が優先となるため，通常は階段利用かと考える。（事務局）
- 6 その他要望等
- ・障害がある子どもない子ども自然に交流できるような施設にしてほしい【議題1（八木橋委員）】
 - ・ハチの巣校舎は教師目線からすると使いにくく，高学年で身体が大きくなると18人位で丁度よく感じる。また，座席によりエアコンの効き方等に違いあって不便。【議題2（八木橋委員・米山委員）】
 - ・ハチの巣は校歌にもあるので，ホールやデザインのみ等，何かしらの形でハチの巣を感じられるものがあると良いのではないか。【議題2（多数）】
 - ・染地山や染地池についても活用できたらいいと思う。【議題2（八木橋委員）】
 - ・ブランコやアスレチックをぜひ残してほしい。また，学校施設だけでなく遊具を充実させて欲しい。【議題2（八木橋委員）】
 - ・ICTだけでなく，アナログ的な部分とバランスの取れた施設がいいと考える。【議題2（市川委員）】
 - ・トイレや施設について，最近造った学校の利用者に使い勝手等のヒアリングを行い参考にして欲しい。【議題2（眞野委員）】
 - ・防犯や災害対策，南側道路への垣根等の設置をして欲しい。【議題2（星委員）】
 - ・トイレについて，家と学校の施設レベルに乖離があるが，子どもの力の発達を考えても，便利過ぎないバランスのとれたものにして欲しい。また，明るく，ほどよくオープン

なスペースならいたずらもしにくいと考える。【議題2（八木橋委員）】

・施設を整えることも大事だが、すべてをそろえるのではなく、マンパワーが発揮しやすい環境が多様性や豊かさにつながるのではないか。【議題2（山澤委員）】

・将来的な人口変動等も踏まえて、柔軟性のあるフレキシブルな施設の検討も必要ではないか。【議題2（河本副委員長）】

・避難方法の変化等も踏まえて、防災部署とも連携しながら、防災倉庫の規模や防災拠点としての位置づけを検討して欲しい。【議題2（眞野委員）】

・不審者が侵入した場合、特別支援学級が1階であると子ども達が逃げられないので、動ける大人がいる管理諸室を1階に配置するなどして、2階以上に子どものいる教室を配置することが望ましいと考える。【議題2（八木橋委員）】

・オープンスペースはつながる場ともなるため、ふれあい給食は1階が望ましいと考える。【議題3（山澤委員）】

・今後のためにもゾーニング案の図とセットで諸条件整理表等があると望ましい。

【議題3（河本副委員長）】

・屋上を校庭として利用できれば校舎は平屋でもよいのではないか。【議題3（市川委員）】

7 第4回及び第5回検討委員会

(1) 第4回

令和7年1月20日（月）14時からを予定

(2) 第5回（最終）

令和7年2月12日（水）18時30分からを予定